



岡本小学校だより

# われら育たん

平成29年9月12日(火)発行

No.5

## 再び学校が始まる 元気な笑顔が揃う



9月1日、再び学校が始まりました。久しぶりの登校を心待ちにしていたのでしよう、登校してくる多くの子どもたちは、笑顔になっていました。「おはようございます。」「遠くから、男の子の元気な声が響いてきます。目を凝らすと、頭にはヘルメットをかぶり、紙袋を両手で抱えるように持っているではありませんか。しばらくして、その理由が分かりました。紙袋の一部が大きく破れています。そのため、収まりきれなくなったヘルメットを通学帽の上からスッポリかぶっていたのです。なかなかのアイデアです。」

今年の夏休みも、子どもたちにとって、素晴らしい休みだったようです。長い休みならではの様々な体験は、子どもたちの心と体を一層たくましくしました。そして、大きな事故や事件などに巻き込まれるこ

ともなく、子どもたち全員が揃ったことが何より嬉しかったです。ご家族や地域の皆さまのご指導のお陰です。ありがとうございました。

10月6日(金)で1学期が終了します。これから、1学期のまとめに入ります。子どもたちが毎日笑顔で、元気いっぱい生活し、あたまづくり・こころづくり・からだづくり・ともだちづくりにしっかりと取り組めるように、引き続き皆さまのご協力をお願いいたします。

### 自然災害から身を守る

9月1日は「防災の日」です。この日の朝会では、大正12年9月1日に起こった関東大震災のこと、大雨や雷などの自然災害から身を守る方法などについて、子どもたちに紹介しました。さらに、午前11時からの「かながわシェイクアウト」に全校で参加し、防災への意識を高めました。皆、真剣に参加できました。

※9月4日、「岡本小学校緊急時対応マニュアル」を全家庭に配付いただきました。親子で内容を確認していただき、家の目立つ場所に掲示してください。

## 5年生20名 自転車大会へ出場

8月24日(木)、足柄上地区1市5町の小学5年生による「自転車の安全な乗り方大会」が、南足柄市体育センターで開催されました。全22チーム、88人の選手が学科と自転車走行の実技を競い合いました。岡本小学校からは、5チーム20人の選手が出場しました。結果は、個人ではIさんが6位入賞、Aさんが敢闘賞を受賞しました。また、団体では岡本男子チーム(Uさん・Aさん・Sさん・Sさん)が7位に入りました。おめでとうございます。

選手に自転車走行の模範を披露してもらい、全校児童の交通安全への意識を高めるために、9月6日(水)に交通安全朝会を実施しました。左写真に自転車には左側からまたいで乗ること、走り出すときは後方を確認すること、踏切は押して渡ることなどのルールを確認することができました。「自転車の事故で一番多いのは飛び出します。」最後に警察官から注意喚起がありました。

5年生の選手の皆さん、暑い中の練習、よくがんばりました。この経験を生かし、交通安全のリーダーとしての活躍を期待しています。



## 夏休み トピックス

### ～ 親子のふれあい工作教室開催 ～

7月23日(日)、神奈川土建西相支部主催の「親子ふれあい工作教室」が開催されました。今年で24回を数え、西湘地区では一番長く続いている工作教室です。当日は、ブックスタンドやテーブルチェア作りなど、子どもと大人合わせて48人の参加者がありました。職人さん方のご指導を受けて、物作りを通して親子のふれあいが深まりました。

### ～ クリーンクリーン作戦実施 ～

8月26日(土)、「岡小クリーンクリーン作戦」が実施されました。当日は、児童や保護者、教職員や南開工業のボランティアさんなど、総勢275名の方々に参加していただきました。また、事前に高橋造園さんや同業の皆さんに高木のせん定作業もしていただきました。お陰で、学校が見違えるほどきれいになり、9月からの学校生活を気持ちよく始めることができました。ご協力いただいた皆さま、大変ありがとうございました。

### ～ トイレの快適化工事終わる ～

3棟(北側)校舎の東側、1階から3階までの男・女トイレの改修工事が、8月30日に終わりました。清潔な床や壁、明るいオート照明、温水便座など、まるでホテルのようなトイレです。これにより、普段子どもたちが利用するすべてのトイレの快適化が完了しました。来校された際にご覧になられてください。



### ～ ハチ退散 ～

8月中旬頃から、運動場の西側と中央のくすのきの洞にスズメバチが入り込んでいました。そこで、専門の業者さんに駆除をお願いし、しばらく様子を見てきました。今週になって、完全にハチが退散したようですので、立ち入り禁止のバリケードを撤去しました。ご協力ありがとうございました。



## 児童用図書いただきました

東雄技研株式会社さまから、今年も児童用図書78冊をいただきました。「楽しい学校マジック」「くらべてわかる！イヌとネコ」「おしりたんてい」など、子どもたちがすべてリクエストしたもののばかりです。これまで贈られた図書と一緒に、「くすのき文庫」として図書室に収められました。＝写真＝

「たくさんの子どもたちが図書室に足を運んでくれると嬉しい」笑顔で話された会長さんの言葉がとても印象的でした。ありがとうございました。



### 「5つのお願い」アンケートにご協力を

本校では、今年度「一人ひとりの笑顔が輝き、家庭・地域から信頼される学校」を教育目標に、学校と家庭・地域とが連携した教育に取り組んでいます。この中で、家庭や地域の皆さまには、①あいさつ ②早寝・早起き・朝ご飯 ③目を見て聞く・話す ④テレビ・ゲームの時間決め ⑤宿題・読書の習慣化の「5つのお願い」をさせていただいております。

10月6日で1学期が終了しますが、これまでの取り組みを振り返り、2学期以降の学校経営の参考にさせていただきたいと思っておりますので、アンケート調査へのご協力よろしく願いいたします。

※最終ご提出日 9月20日(水)

## ＝ 校長室の窓から ＝

### ユニバーサルデザイン



▼「青は進め、黄色は注意、赤は止まれ」○は正解、×は不正解  
「顔の上下運動は承認、左右は否定」など、ふだん何気なく目にはしている色、形、動作などには、多くの人が共通にもつ意味が込められています。言葉では、説明がしにくいものでも、これらを使うことで、理解がたやすくなります。▼ユニバーサルデザインをご存じでしょうか。障害の有無や年齢、性別などにかかわらず、たくさんの人々が利用しやすいように製品やサービス、環境をデザインすることです。▼今年度、本校では、授業づくりの一要素にユニバーサルデザインを位置づけました。黒板周りをすっきりとさせて授業に集中できるようにする、発表の仕方や話の聞き方などのルールを明確にする、見えないものを「見える化」してイメージが湧きやすくなるなどの工夫です。これにより、学級全員の子どもたちが「わかる・できる」授業づくりを目指しています。▼ユニバーサルデザインの視点から、施設(ハード面)のバリアを取り除くことは、比較的取り組みやすいのかもしれませんが、ただし、一定の限界はあります。大切なのは、心のユニバーサルデザイン(ソフト面)です。私たち自身の心が様々な人に向き合えるかということが極めて重要です。ユニバーサルデザインの目指すところは、自分とは異なる立場の人の視点に立ち、より良い行動ができるということなのです。